

第 12 回 皇學館大学道德科教育研究協議会研究大会

1. テーマ 「道德教育と科学 ― 道德教育を、科学のまなざしから捉え直す ―」

2. 開催趣旨

道德教育は、子どもたちがよりよく生きるための基盤を育む営みです。しかし、その意義や教育的効果については、授業者の経験や印象だけでなく、具体的な子どもの姿や記録、さらには関連する研究成果に基づいて検討することが求められています。

近年、心理学、脳科学、進化学などの分野では、利他性、非認知能力、他者とのつながり、幸福感といった、人間の生き方に関わる研究が蓄積されています。こうした知見は、道德教育の内容や方法を直接決定するものではありませんが、道德性がどのように育まれるのか、また、道德教育が子どもの成長や幸福とどのように関わり得るのかを考えるうえで、重要な手掛かりとなります。

そこで本大会では、「道德教育と科学」をテーマに、具体的な子どもの姿や授業記録に基づく実践報告と、科学的知見を踏まえた講演を行います。実践と理論を往還するとともに、科学的知見の可能性と限界にも目を向けながら、これからの道德教育の意義と在り方について、参加者の皆様とともに考えていきます。

3. 日 時 令和8年 12 月 6 日(日) 9:30(受付9:00～)～15:30

4. 会 場 皇學館大学 621教室(6 号館 2 階)
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本1704
TEL : 0596-22-0201(代) FAX:0596-27-1704

5. 主 催 皇學館大学道德科教育研究協議会

6. 日 程

○ 開会挨拶 (9:30～9:40)

○ 実践発表 (9:40～12:40)

・廣瀬 圭佑(三重県公立小学校 教諭)

「タイトル」

・川端 信也(三重県公立小学校 教諭)

「道德・防災連携学習における援助要請学習の設計と実践―小学校 4 年生の取組―」

・山崎 敏哉(東京都公立小学校 教諭)

「タイトル」

・志賀 都子(寺子屋みやこ代表・元小学校教諭)

「タイトル」

〈 昼休み 12:40～13:30 〉

○ 講演(13:30～15:00) 質疑応答:15:00～15:10

渡邊 毅(元皇學館大学教授) 演題「タイトル」

昭和 35(1960)年、愛知県名古屋市長生まれ。皇學館大学文学部国史学科卒業。元皇學館大学教育学部教授。日本教師会会長。専門は道德教育。道德教育研究の傍ら、教育界の諸問題について評論や講演などを行っている。著書に『道德教育における人物伝教材の研究 ― 人は偉人を模倣する』(ナカニシヤ出版)、『伊勢の神宮のおはなし ― 子供たちに伝えたい式年遷宮』(明成社)、『日本と世界の架け橋になった 30 の秘話 ― 「戦争と平和」を考えるヒント』、『道德の教科書 ― 善く生きるための七十の話』、『道德の教科書・実践編 ― 「善く生きる」ことの大切さをどう教えるか』、『愛国心の教科書 ― 誇り高く生きるための五十の話』、編訳著に『現代語抄訳 二宮翁夜話 ― 人生を豊かにする智恵の言葉』、『新訳 自警 ― 自分の理想に近づくために知っておいてほしいこと』(以上、PHP 研究所)がある。

○ 閉会挨拶(15:15)

7. 申込み方法(QRコードまたはメール)



※「QRコード」または「メール」の、いずれかにて申込みをお願いいたします。

① QRコード(右のQRコードから、お申込み下さい)

② メール

メール件名「第12回研究大会参加申し込み(お名前)」として、次の3つをお知らせください。

①お名前 ②ご所属 ③e-mailアドレス

【申込み先】 d-matsuo@kogakkan-u.ac.jp

【申込み後】

受付後、メールにて参加証をお送りいたします。送られてこない場合は、事務局にメールが届いていない可能性がありますので、お問い合わせください。参加証に必要事項をご記入の上、当日「参加証」を受付に提出ください。

8. 参加費 無料

9. 昼食 会場近くでご昼食がとれるお店がありませんので、予め各自でご昼食をご持参ください。

10. 問い合わせ(事務局) 皇學館大学 松尾大輔研究室内

11. アクセス

宇治山田駅(近鉄)または伊勢市駅(JR・近鉄)より、内宮行バス(徴古館経由)または宿浦行バスに乗り、皇學館大学前下車(約10分)。徒歩の場合、各駅より約20分。

※ 駐車場が狭いため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【実践発表者プロフィール】

○ 廣瀬 圭佑(ひろせ けいすけ)

三重県公立小学校教諭。2020年度より教員として勤務し、これまで1・2・4・5年生の担任を経験。子どもたちの「できた!」「わかった!」を大切にしながら、日々の授業づくりに取り組んでいる。大学時代には皇學館大学大学生テレビ局で番組制作に携わり、副局長として組織運営も経験。社会科・道徳科・生活科を中心に研究し、ICTを活用した対話的な学びにも力を入れている。子どもたちと共に悩み、考え、成長し続ける教師を目指している。

○ 川端 信也(かわばた しんや)

三重県公立小学校教諭。現在、小学校4年生の担任。「よく遊び、よく学ぶ」を教育テーマに、子どもたちが「いつの間にか学んでいた」と感じられるような、没入感のある教育活動を大切にしている。特に社会科・道徳科に力を入れ、子どもの困り感や疑問を出発点とした授業づくりを実践。校内では研修主任を務め、対話的な学びを通して自らの考えを表現し、深める子どもの育成を目指して、授業改善や校内研修の推進にも取り組んでいる。

○ 山崎 敏哉(やまざき としや)

東京都公立小学校主幹教諭。明星大学人文学部心理・教育学科卒。「高橋史朗塾」事務局長、「東京便教会」「関東致知教師木鶏会」世話人、「学級づくり修養会 HOPE」に所属。クラス会議を軸とした自治的な学級づくり、日本型ウェルビーイング、感知融合の道徳教育を中心に実践と研究を重ねている。齋藤武夫の「日本が好きになる!歴史授業」や鍵山掃除道からも学び、日々の教育実践につなげている。

○ 志賀 都子(しが みやこ)

「寺子屋みやこ」代表、横大路こども園「幼児国語(ことばとなかよし)」担当。京都の公立・国立・私立の幼稚園、小学校、中学校で教員として勤務し、道徳教育・国語教育を中心に研究と実践を重ねてきた。2020年の退職後、親子塾「寺子屋みやこ」を立ち上げ、「本好き」「国語好き」「日本大好き」を育てる教育を実践。絵本や言葉を通して日本の風情や文化を伝える教材開発・授業づくりに取り組んでいる。